

# マンスリータイムズ

海南市立海南下津高等学校  
2月号  
平成28年2月29日発行



## 沖縄修学旅行

2月3日(水)～5日(金)、2泊3日の日程で2年生が沖縄へ修学旅行に行ってきました。関西空港から沖縄へは約2時間30分の空の旅です。那覇空港に降り立つと暖かい空気に包まれ和歌山との気温の差にビックリです。ひめゆりの塔で献花式を行った後、ひめゆり平和祈念資料館を見学しました。その後、「道の駅かでな」の展望台に立ち寄り、東京ドーム429個分の広さを持つ日本最大級の米軍基地である嘉手納空軍基地を見学しました。その大きさに驚くとともに基地問題を抱える沖縄の現実を感じることができました。2日目の午前は、「サトウキビ黒糖作り」「漆喰シーサー作り」「シーカヤック」の3班に分かれての体験学習です。「サトウキビ黒糖作り」では、沖縄を代表する基幹作物であるサトウキビをカマやオノを使って収穫します。サトウキビは沖縄ではウーヅと呼ばれ古くから栽培されてきました。収穫したサトウキビは大きな機械でキビ汁を搾り取り、キビ汁を煮詰めて黒糖を作っています。自分たちの手で収穫したサトウキビからできた黒糖はとてもおいしく感じられました。「漆喰シーサー作り」では、自分のイメージしたシーサーを漆喰（主成分は水酸化カルシウムや炭酸カルシウム）を材料とし作っています。貝殻や琉球瓦の破片で飾り付けもします。シーサーとは古代オリエントに起源を持つと言われる魔除けの獅子のことです。エジプトではスフィンクス、中国では唐獅子、日本では狛犬と姿形を変えながら伝来したと言われています。沖縄では首里城をはじめ各家庭の庭先や瓦屋根など随所にシーサーを見ることができます。造形したシーサーは自分の好みに色づけしてオリジナルシーサーの出来上がりです。「シーカヤック」では、晴天の中紺碧に輝く海に繰り出します。シーカヤックは海で使うことを前提に波、風、潮流に影響されにくいようデザインされています。身体を動かす心地よさと大自然のきれいな景色を楽しむことができました。午後からは、「沖縄の海との出会い」をコンセプトにした美ら海水族館の見学です。大水槽で回遊する大きなジンベイザメやナンヨウマンタは圧巻です。



3日目は、琉球王国の王城であった首里城を訪れました。首里城は1945年の沖縄戦と琉球大学建設で完全に破壊されましたが、1980年代から徐々に復元されてきました。中国の紫禁城をモデルにしたといわれる美しい城で、中国や日本の建築様式が組み込まれた独自の造形美を持っています。中国と日本に大きな影響を受けた沖縄独自の歴史と文化を感じることができます。その後、沖縄最大の繁華街である国際通りで、家族や友人へのおみやげを買い、全員無事に帰ってきました。



## 校内マラソン大会

2月12日(金)に校内マラソン大会を開催しました。2月とは思えぬ暖かい日差しの中、5kmの距離を走りました。生徒は少し汗ばみながらも颯爽と走り抜け、全員完走することができました。



## 3月の主な行事予定

- 1日(火) 卒業式
- 2日(水) 学年末考査最終日
- 2日(水)～4日(金) 答案指導
- 15日(火) 映画「海難 1890」鑑賞会
- 17日(木) 進路講話「ようこそ先輩」
- 22日(火) マナトレ認定テスト
- 24日(木) 終業式
- 31日(木) 離任式